



OTSUMA  
Ranzan



Otsuma Ranzan Junior and Senior High School

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 558 0493-62-2281 大妻嵐山中学校高等学校 2022.3.1

## 「報われない努力?」… 君たち嵐山生はどう考える? …

北京オリンピックが終わりました。日本選手のメダル獲得は、金メダル 3 個、銀メダル 6 個、銅メダル 9 個、合計 18 個。これまで最多だった前回のピョンチャン大会の 13 個を上回る冬季オリンピック史上最高のメダル獲得でした。その一方で、ジャンプ団体での失格や団体スケートでのラスト 1 週での転倒などアスリートたちのつらく悲しい涙を一つの現実として目の当たりにしました。羽生結弦選手の 4 回転半に果敢に挑んだ結果は、4 位。「報われない努力はあるんだ」という羽生選手の言葉は、君たちはどう感じたのでしょうか。ティモンディの高岸さんではないが済美高校の校訓「やればできる」という言葉や嵐山の「ここでならできる」というキャッチコピーに少なからず、君たちも魅力を感じていることでしょう。

現実には理想形ばかりではない。高岸さんも「僕の『やればできる』っていうのは『やれば成功する』ではなくて『やれば成長できる』よねっていう思いを込めていまして」と言葉に込めた本当の意味を解説している。

「報われない努力もあるかもしれない。でも頑張りました。死に物狂いで努力しました」自分の目指すものを、目指すところに立ち向かう自分を信じてやり続けた努力こそが尊いのかもしれない。その努力を信じたからこそ、羽生選手も体を張って死に物狂いで練習できた。そして、それに挑戦する自分自身に誇りを感じたのだろう。

羽生選手の言葉は、見返りを求めないアガペーのように…対象の価値を常に追求するいわば自己本位の私たちに警鐘を与えた言葉なのかもしれない。

## 「岸さん 文部科学大臣賞」学生科学賞

全国の中学生・高校生の科学研究を対象とした「第 65 回日本学生科学賞」において、岸 優夏さん（高 1・サイエンス部）が『文部科学大臣賞』（全国 2 位）を受賞し、今年 5 月に行われる「国際学生科学技術フェア（ISEF）2022」へ日本代表として出場することが決まりました。

受賞した研究のタイトルは「錬金術師の夢の改良－アルミ箔と界面活性剤を用いる方法－」です。

岸さんは中学校時代、吹奏楽部に所属していましたが、大妻嵐山高校入学後に新たなことにチャレンジしたいと「サイエンス部」に入部しました。岸さんは、入部以降コロナによる活動自粛期間を除きほぼ毎日、「金属めっき」に関する研究を行いました。

銅板に亜鉛をめっきして銀色にし、さらに加熱することで金色の黄銅めっきにする。この実験方法を「錬金術師の夢」といい、黄銅（真鍮、brass）は金管楽器などに使用される合金とのこと。

今回の研究は、世界中で行われている亜鉛めっきの実験の安全性向上に貢献できると言われています。また、新たなめっき法としての活用が今後期待されます。



## 大妻嵐山「やればできる」…「努力が報われた県制覇!」

第 34 回県民総合スポーツ大会兼埼玉県中学バレーボール New Year Cup の決勝戦が 1 月 10 日、羽生市体育館で行われ、大妻嵐山が、昨夏全中出場のふじみ野大井西中学校を相手にストレート勝ちし、エースで主将の佐藤さんを中心とした攻撃力と粘り強い守備で創部発となる県の頂点に立った。

中学バレーボール部の今回の快挙は、まさに今までの努力の成果であろう。日頃の練習はもちろん、日常の学校生活に至るまで、彼女たちの自分自身に対する挑戦であったように感じられる。あいつ、学習、練習等々全ての局面において、自身に厳しく向き合ってきた、部員の努力が報われた結果だった。

顧問の弓削先生の「新チーム結成から私生活も含めて彼女たちがまじめに努力した結果」という言葉がすべてを物語っているのだろう。



## 【コーラス部からの熱いエール】…復活ロビーコンサート



大妻嵐山コーラス部のロビーコンサートが、3月20日(日)に「ニューサンピア埼玉おごせ」で行われます。この企画は、嵐山町教育委員会、越生町教育委員会の後援を受けて2年前にもあったのですが、残念ながら、新型コロナの感染拡大を受けて中止となってしまったものです。今回は、そのリベンジ企画です。

今回は何としてでも「やりきる」と部員一同とても気合が入っています。「ニューサンピア埼玉おごせ」は、モニタリングという番組でX JapanのTOSHIがドッキリした舞台であったり、サンドイッチマンのバス旅の終着点としてロケ地となったり、最近テレビへの露出が増えています。これに便乗する形で、嵐山コーラス部もメジャーデビューできるといいですね。皆さんも時間があつたら是非ニューサンピアへいかがでしょうか。

## 【明るい選挙啓発ポスターコンクール作品展示】

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、きちんと政治が行われなければなりません。その政治は「選挙」によって選ばれた人たちによって行われます。そして、その「選挙」は明るく正しく行われなければなりません。そこで、このポスターコンクールは、小学校・中学校・高等学校に在籍または県内に在住している児童・生徒の皆さんに、政治や選挙に対する関心を高めてもらう趣旨で実施しているものです。



嵐山からは12名の生徒が作品を応募し、その作品は嵐山町山場の玄関ロビーに展示されました。応募した生徒の皆さん、今は18歳で有権者となります。政治は決してほど遠いものではなく、皆さん自身の身近なこととしてもはや存在しているのです。参政権をめぐる歴史的な経緯は言うまでもありませんが、基本的人権の行使にあたること、成人の第一歩として国民の責任を果たしましょうね。



## 【いざ進路へ…出陣】…高2ゼロ学期始まる…

修学旅行も残念ながら中止となり、高2生はいよいよ進路に向けてゼロ学期を迎えました。12月20日からは、「高校3年ゼロ学期勉強会」と称して、4日間にわたってみっちり多岐にわたる講座の中で勉強漬けの生活を送りました。また、2月には大学入学共通テスト模試を受け、現在の学力を各自が把握。是非今後の学習課題を自己分析・自己理解したうえで高3へのステップとして、いざ出陣です。でも、高2のけじめとして、修学旅行代替として遠足ぐらいは行きたいものですかね…?。

## 「第2回定期生徒総会」 …生徒会も大活躍…



2月16日(水)に第2回定期生徒総会がZoom配信で行われました。内容はR3年度決算報告、R4年度部活動・同好会予算(案)が中心となるものですが、今後の活動計画としてサブバッグ自由化・制服のリラックス導入についての話もありました。い

ずれにしても、「ダイナシティ」や「サステナブル」といった時代を象徴するワードにも絡む大きなテーマであると思います。生徒会諸君の自主自立をあらわす働きが今の嵐山を象徴するワードとなるのではないのでしょうか。

